



11月度議員懇談会

障がい者就労支援事業所と連携した人手不足の解決策を学ぶ

11月度議員懇談会を11月1日午
前11時から福井商工会議所ビル地

下国際ホールにて開催した。

開会にあたり川田会頭は「世



界的に大きな影響を与えかねない経済リスタグが4つある。一つは、『加熱し続けるアメリカ経済の歪み』。二つ目は『輸入規制などトランプ大統領のアメリカーファースト主義』だ。『アメリカと中国の貿易戦争』や『アメリカ・イラン間の緊張によるオイルショック』も大き



実際に障がいのある人が働く姿を動画などで示し、企業での活用を勧める永田氏

なりリスクだ。これらがリーマンショック以来の世界的な経済危機を引き起こす可能性が高まりつつある」と挨拶した。

その後、社会福祉法人福井県セールの永田弘幸理事より、進歩する障がい者就労支援事業と企業との新たな業務連携をテーマに卓話が行われた。永田氏は人手不足を解消するための効果的な手段として、障がい者就労支援施設の活用

を提案。介護施設や農業、企業などで障がいのある人に仕事をしてもらい人手不足の解決を図る取り組みが紹介された。企業が実際に障がい者就労支援施設を活用する際のポイントとして、専門性が必要な業務と単純作業を分けることが重要と解説した。障がい者就労支援施設と業務連携し、単純作業を障がいのある人が受け持つことで専門性の必要な部分に人的資源を集中できる。障がいのある人との業務連携の主な手法として「アウトソーシング」「施設外就労」「直接雇用」の3つを挙げ、職場の環境などで使い分ける必要性も訴えた。

永田氏は「私たちは障がいのある人の出来る部分に目を向けて、異なる能力を持った人として接している。今後はこうした人々が活躍する多様性を持った社会が必要」と強調した。